

すわみつえ通信

No.144 2020年10月12日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

特養ホーム「福富の郷」と「(仮称)第2福富の郷」は免許センター横の元荒川に橋ができるとつながる？

原口市長の土地に特養ホーム建設計画

●2017年9月議会で元荒川に橋を架けることが決まった

「議案第44号 市道H-2 23の路線認定」は、鴻巣市ふるさと総合緑道計画の一環として、免許センターの横から、川に橋を架けて元荒川の左岸側へつなげていくものです。

●橋を架ける場所は

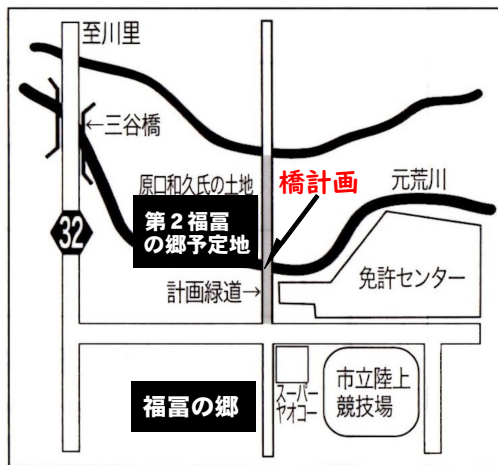
元荒川に架かる三谷橋から郷地橋までの距離は1500メートルですが、新たな橋は三谷橋からわずか500メートルの所です。この位置は、元荒川右岸側が陸上競技場スーパーマーケット、そして「福富の郷」があり、左岸側は集落として市長の土地である「第2福富の郷」建設予定地があります。

●賛成16 反対5 棄権4で可決するも、一部地権者の合意が得られず実現はしていない

日本共産党は、以下の指摘をして、新たな橋をかける議案に反対をしました。

①三谷橋からわずか500メートルのところに新たな

橋は必要ではない、②左岸側の地権者が市長の原口和久氏である、③車の往来が多くなり歩行者の安全の確保が問題、④橋梁の建築で2億円と概算しており、さらに用地の買収費用がかかる、⑤橋梁については2014年に法改正があり、長さ2メートル以上の橋は5年に1度点検が義務づけられ、鴻巣市においては、該当する橋梁は既に524ある。既にある橋の維持管理だけでも1億円近く費用がかかる。



市民の皆さんが納められた税金は、一部の地域ばかりに事業を行うのではなく公平に公正に使うべきと考えます。

211名の特養待機者(2019年4月1日)があることから、介護施設整備は重要です。適正な配置となるよう求めています。

市民が野党をつなぐ埼玉6区連絡会主催の6区台同上尾駅大宣伝に参加「連合政権を必ず！」



6区連絡会台同上尾駅大宣伝 オール埼玉総行動・小出実行委員長の挨拶

10月9日(金)17時30分より上尾駅東口で行われた宣伝行動に参加しました。台風14号接近の冷たい雨が降る中でしたが、大勢の参加者があり、熱く訴えました。

オール埼玉総行動・小出実行委員長の「平和を求めるのに右も左もない。力を合わせて改憲勢力に打ち勝とう」という応援挨拶を皮切りに、各団体のリレートークで、来るべき解散総選挙で市民と野党の連合政権を必ずつくっていくと気持ちが一つになりました。

俳句コーナー

俯瞰的 恣意的に言う
芋がしら

多恵子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

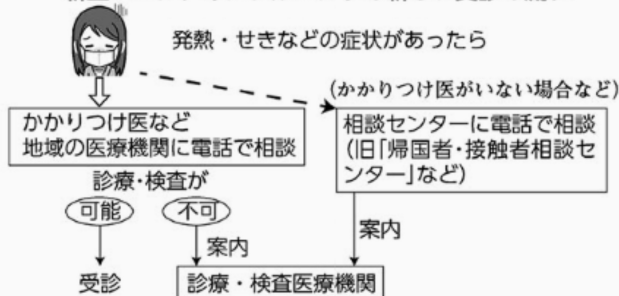
新型コロナと同時流行防ぐ

インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の違い

	インフルエンザ	新型コロナウイルス感染症
症状	しばしば高熱を呈する	発熱、味覚・嗅覚障害など
潜伏期間	1～2日	1～14日（平均5.6日）
ウイルス排出期間	5～10日（多くは5～6日）	感染力があるウイルス排出期間は10日以内
ウイルス排出のピーク	発病後2、3日後	発病1日前
重症度	多くは軽症～中等症	重症になりうる
ワクチン	使用可能	開発中
治療薬	6種類	軽症例については、確立された治療薬はない

（日本感染症学会の提言〈8月3日公表〉から）

新型コロナ、インフルエンザの新しい受診の流れ



インフルエンザ

65歳以上高齢者
予防接種優先で



新型コロナウィルス感染症対策分科会
構成員・川崎市健康安全研究所所長
岡部信彦さんに聞く

岡部信彦さんに聞く

しんぶん赤旗
10月10日付

冬の新型コロナウィルスとインフルエンザの同時流行を警戒し、秋から備える必要があります。例年は南半球からの旅行者を通じて流行する夏のインフルエンザは、今年は広がっていません。全国の約5千の医療機関

にかかった9月第4週の患者は7人で、昨年の約600分の1です。人の移動が少ないことで広がっていないようです。6～8月が冬だった南半球でも、今年はインフルエンザの流行が激減しています（別項）。新型コロナウイルスは、受けた人すべて

コロナの感染対策の効果だけでは十分説明できないため、ウィルス同士が競合し、流行が少ない方は感染しづらくなるといふ理由もあるのかもしれない。インフルエンザの予防接種は、受けた人すべて

南半球のインフル感染者激減

WHOの統計によると、オーストラリアの3月30日から8月30日までのインフルエンザの感染者数は全国で33人。2019年の同時期の1万1196人から99.7%減。ブラジルは91.4%減（218人）、南アフリカは99.5%減（6人）。

に確実な予防効果が出るわけではありませんが、全体で見ると発熱の度合いや死亡数を下げる効果があります。今年は約6300万人分のワクチンが用意されようとしています。すべて出そろったのは12月初旬で、製品としてできた分から10月1日より出荷されています。少しずつ出ていくため、生命に関わる重症化のリスクの高い人から優先的に接種をしてほしいと思います。

【いわき】笑いと食で健康応援！ コロナはにくんでも豚まんはにくまん？



昨秋、川という川を氾濫させた台風19号。福島県いわき市の中華料理店「華正樓（かせいろう）」には、すぐそばの夏井川から水が流れ込んだ。料理長・吉野康平さん（40）は泥だらけの厨房で、業務用冷蔵庫が壁に刺さっているのを見て途方に暮れた。

再起をはかる気になれたのは、友人たちが駆け付け、片付けを手伝ってくれてから、被災の3日後に長男がぶじに生まれ、腹が決まった。多額の借金を背負ったが、2カ月半の休業をへて年明けに再開した。ところがコロナでまた休業に。この機に台風の時に受けた恩を返そうと、地元のいくつかの病院への差し入れを想い立つ。店自慢の特製の豚まんを生地から一つひとつ手でこねた。その数500個。肩ロースとタマネギをたっぷり使った。『コロナはにくんでも、豚まんはにくまん』。医療機関の皆さんを励まそうと、豚まんの温め方を記載してある紙の裏側に、手書きのメッセージを箱に添えた。

店を再開した5月、この短文がSNSで広まる。豚まんのテイクアウト商品に添えた新型コロナウイルス感染症に対抗するキャッチコピーで話題になっている。キャッチコピーは、自宅で店の味を楽しめるよう豚まんに添えている食べ方を記した紙に吉野さん自らの直筆。吉野さんは「暗い世の中で少しでも笑っていただけたら」と笑いと食で健康を応援する。

【朝日新聞デジタル 10月6日付（天声人語）、福島民友新聞社 5月17日付（浜通り地区）】。